

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙

FUTABANOVA

ふたばのわ

Vol.138
2025.4.15



3.11 追悼行事

ありがとうメッセージ 朗読会 P.2

双葉中学校生徒海外派遣事業

成果報告会 P.3

中学生に送る 双葉ダルマ贈呈式

ドラマ「風のふく島」先行上映会 P.4

今月の表紙

今月の表紙は、3月11日に東日本大震災・原子力災害伝承館で開催されたキャンドルナイトで撮影した1枚です。

震災から14年が経ち、訪れた多くの人は、震災に対する思いが書かれたキャンドルを見つめながら、犠牲者への追悼と町の復興への思いをはせていました。

発行：双葉町秘書広報課 0240-33-0125
企画・編集：双葉町復興支援員



千葉 一伸さん

今回で朗読会の出演は 3 回目になりますが、前回双葉町を訪れた際には無かった建物が増えており、復興が少しずつ進んでいることを実感しました。

双葉の皆さんの思いを代読する気持ちは変わらず、戻ってこられた方々や新しく来られた方々にも、お届けできればと思いました。



榎本 温子さん

朗読会に参加して、町民の皆さんの表情や気持ちが少しずつ変わっていく様子を感じ、回を重ねるごとに、こうした活動が続けていく意義を改めて実感して、私自身も関わることができて嬉しく思います。これからも双葉町を応援していきたいです。

3月11日、双葉町産業交流センター1階 エントランスにおいて、双葉町復興支援員主催の「ありがとうメッセージ朗読会」を開催しました。本朗読会は、2022年、2024年に続く3回目の開催となり、町民の皆さまが、震災当時受けた数々のご支援に対して語った21のエピソードを6人の声優が朗読しました。

当日は多くの方にご来場いただき、中には関西から駆けつけた方もいらっしゃいました。

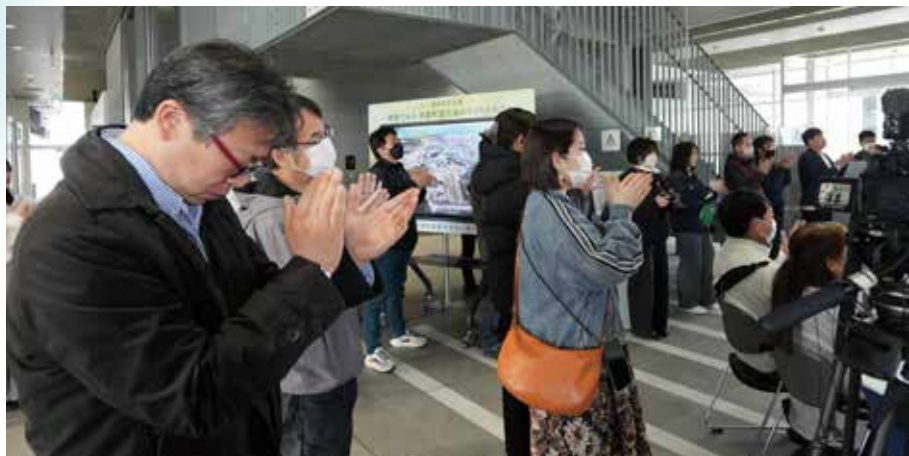
声優による心の込もった朗読は、聴く人々の心を揺さぶり、会場では涙を浮かべる姿も見受けられました。

本朗読会を通じ、町と町民の皆さまがこれまで受けたご支援を改めて振り返るとともに、震災の記憶を風化させることなく、双葉町の現状と復興への歩みを多くの方々に知っていただく貴重な場となりました。



中村 繪里子さん

今回、朗読会に参加して、町の景色を見ると一瞬悲しみがこみ上げましたが、町民の皆さんの表情や空気に触れることで、この町が生き生きとしていることを感じ、心から嬉しく思いました。双葉町の復興の力強さを実感しました。



双葉中学校生徒海外派遣事業 成果報告会



3月21日、いわき市内の双葉中学校にて、生徒海外派遣事業成果報告会が行われました。本報告会では、2月16日から22日にかけてイギリスを訪問した双葉町生徒海外派遣団の体験を生徒たちが発表しました。

冒頭では、教育長や校長先生のあいさつがあり、続いて生徒たちが発表を行いました。出発の様子やホームステイ先で過ごした様子、ロンドン日本人学校の学生との交流やイギリスでの異文化交流の体験など、スライドを交えて懸命に伝え、会場は温かい拍手に包まれました。

質疑応答の時間では、参加者からの質問に生徒たちが答える場面があり、生徒たちが海外で得た学びや成長した点を発表しました。

最後に、町長が「生徒たちには今回の体験を生かし、さらに学んでほしい」と講評を述べました。

本報告会を通じ、異文化や交流する大切さを改めて理解する場となりました。

生徒・先生のインタビュー



室井 知美先生

昨年続き2回目の訪問となりましたが、一人一人が大きく成長していることを実感し、改めて子どもたちの持つ可能性を感じました。

ホストファミリーと英語の会話で苦労しましたが、翻訳アプリや習った英語を使うことでお互いの気持ちや伝え合うことができました。今回の経験を通じて、文化や言葉の違いを超えるには伝えようとする意志が何より大切だと実感し、今後も積極的に英語を学んでいきたいです。

ホストファミリーの温かいもてなしに触れ、身の回りのことを気遣ってくれたことや、お米料理を作ってくれたことがとても嬉しかったです。日本とイギリスの歴史や文化の違いに驚きながらも、多くのことを学びました。今回の経験を通じて、それぞれの文化の理解の大切さを感じました。



高橋 梨奈さん

ロンドンの日本人学校の学生とは国が違っても共通の趣味で盛り上がり、とても良い機会になりました。今回の研修では、歴史を学ぶことが多く、他国の理解への関心がさらに高まりました。今後、世界のさまざまな文化を調べて、視野を広げていきたいです。



渡邊 琉生さん

日本とは異なるシャワーの使い方に戸惑いましたが、他の国の暮らしを学ぶ良い機会となりました。学生交流では、短い時間の中でも同じ趣味の話で盛り上がり、良い経験になりました。今回の経験を通じて、英語の大切さがわかり、他の文化に触れることで自分自身が成長できたと感じています。



大橋 薫和さん



脇坂 くるみさん



中学生に送る 双葉ダルマ贈呈式

2月26日、いわき市の双葉町立学校で受験を控えている中学3年生に対して、JA福島さくらふたば地区女性部 双葉支部の方から、高校受験合格を祈願した双葉ダルマの贈呈式が行われました。

JA福島さくらふたば地区女性部 双葉支部を代表して石田恵美さんと山本 洋子さんから、応援のメッセージとともに、思いの込もった手作りの双葉ダルマが生徒一人一人に贈呈されました。ダルマを受け取った3年生は、女性部の方へ感謝の気持ちを述べ、受験への気持ちを新たにしました。



ドラマ「風のふく島」先行上映会

3月21日、駅西住宅集会所にて、福島テレビの放送に先駆けて、ドラマ「風のふく島」の先行上映会が開催されました。

「風のふく島」は東日本大震災後の福島12市町村に移住した12人の実話を元にしており、第10話は双葉町に移住された元復興副大臣の濱田昌良さんがモデルとなっています。

当日は、駅西住宅の住民9人が参加し、ドラマを鑑賞しました。本作には、駅西住宅の住民の皆さんもエキストラとして出演しており、スクリーンに映し出されるなじみ深い風景や自身の姿に、参加者は真剣な表情で見入っていました。

上映後、濱田さんは、「作品としてうまくまとめたいただき、感謝しています。とても良いドラマでした」と感想を述べられました。



町内の放射線モニタリング情報

町内の放射線モニタリング情報は右のQRコードよりご確認ください。
測定値は随時更新中です。

詳細はこちらから
ご覧ください。➡

